

新山梨環状道路（北部区間）
のこれまでの調査結果

新山梨環状道路（北部区間） 「技術レポート」・「環境レポート」について

国土交通省では、山梨県の山梨幸住県計画に位置付けられた新山梨環状道路のうち、北部区間の調査を担当して約6年経過しました。この間に、オオタカ検討会、史跡・遺跡調査委員会などの場で環境の実態を調査するとともに、道路計画の試案を様々な角度から検討してきました。今回発表します「技術レポート」「環境レポート」はその調査成果を取りまとめたものです。

また、この技術レポートや環境レポートについて様々な声をお寄せ下さい。今後、PI方式（パブリックインボルブメント方式）の考え方でみなさまの声を道づくりに活かしていきます。



※PI方式（パブリックインボルブメント方式）

施策の立案や事業の計画・実施などの過程で、関係する市民に情報を公開した上で、広くご意見を伺い、それらを計画づくりに反映すること。

● 新山梨環状道路とは

新山梨環状道路は、山梨県の「山梨幸住県計画（平成6年2月）」に位置付けられた道路構想で、平成6年12月に地域高規格道路の計画路線に指定された南部・東部・北部区間と中部横断自動車道を利用する西部区間によって構成されています。

この道路は甲府都市圏における交通の円滑化、甲府市と周辺市町村間の連絡強化などを目的とした、全長約40kmの環状道路です。

北部区間は山梨県知事からの要請で、平成8年8月から甲府工事事務所で調査を行っています。

調査にあたって、環境問題が重要と位置付け平成12年からは地元の専門家からなる「オオタカ検討会」を開催し、平成13年からは「史跡・遺跡調査委員会」を開催し、基礎的な調査を行っています。

なお、南部区間は山梨県において工事中であり、平成13年10月に富士川渡河部（約1.5km）が開通。また、西部区間についても道路公団において、平成14年3月、双葉ジャンクションから白根インターチェンジ間（約6.8km）が開通しています。東部区間は、山梨県において調査を行っています。

● 史跡・遺跡調査委員会委員

■ 委員

| | |
|--------|-------------------------|
| 谷口 一夫 | 山梨県考古学協会会長 |
| 椎名 慎太郎 | 山梨県考古学協会副会長 山梨学院大学教授 |
| 萩原 三雄 | 帝京大学山梨文化財研究所所長 |

■ オブザーバー

| | |
|-------|------------------|
| 芦澤 喜博 | 山梨県教育委員会学術文化財課課長 |
|-------|------------------|

■ 事務局

| | |
|-------|----------------|
| 和田 一範 | 国土交通省甲府工事事務所所長 |
| 曾雄 孝義 | 山梨県土木部道路建設課課長 |

● 北部区間にかかる主な経緯

- H 6.12 新山梨環状道路が地域高規格道路に指定
- H 8. 8 北部区間が調査区間に指定
- H11.9～10 [新山梨環状道路整備促進の意見書]
(県議会及び甲府市、敷島町、双葉町等24市町村議会で採択)
- この間、各種団体による推進・反対の動き活発化
- H12.3～4 文献調査結果を地元の説明
- H12.11 オオタカ検討会設置
- H13.6 第4回オオタカ検討会
(委員メンバー拡充)
- H13.7 史跡・遺跡調査委員会設置
- H14.3～ 第3回史跡・遺跡調査委員会
(中間とりまとめ)
- H14.6～ 第10回オオタカ検討会
(中間とりまとめ)

● オオタカ検討会委員

■ 委員

| | |
|-------|----------------------------|
| 中村 司 | 日本野鳥の会甲府支部名誉会長 山梨大学名誉教授 |
| 依田 正直 | 日本野鳥の会甲府支部支部長 |
| 青木 進 | 山梨県猛禽類研究会会長 |
| 遠藤 博文 | 日本野鳥の会甲府支部理事 |
| 坂本 康 | 山梨県猛禽類研究会 |
| 一瀬 邦彦 | 日本野鳥の会甲府支部 山梨県猛禽類研究会 |

■ オブザーバー

| | |
|-------|------------------|
| 秋山 貴司 | 山梨県森林環境部みどり自然課課長 |
|-------|------------------|

■ 事務局

| | |
|-------|-----------------|
| 和田 一範 | 国土交通省 甲府工事事務所所長 |
| 曾雄 孝義 | 山梨県土木部 道路建設課課長 |

北部区間にかかる合意形成の進め方

新山梨環状道路（北部区間）については、都市計画や環境アセスメントなどの手続きに入る前の初期段階から、皆さんの意見をお聞きし、計画づくりに反映させていく「新しい検討方法」で検討を行いたいと考えています。

この「新しい検討方法」にあたっては以下の4つの柱で議論を進めたいと考えています。

新しい検討方法

1. 情報の共有

情報（「技術レポート」「環境レポート」）を広く公表し、共有していきます。

2. 意見の把握

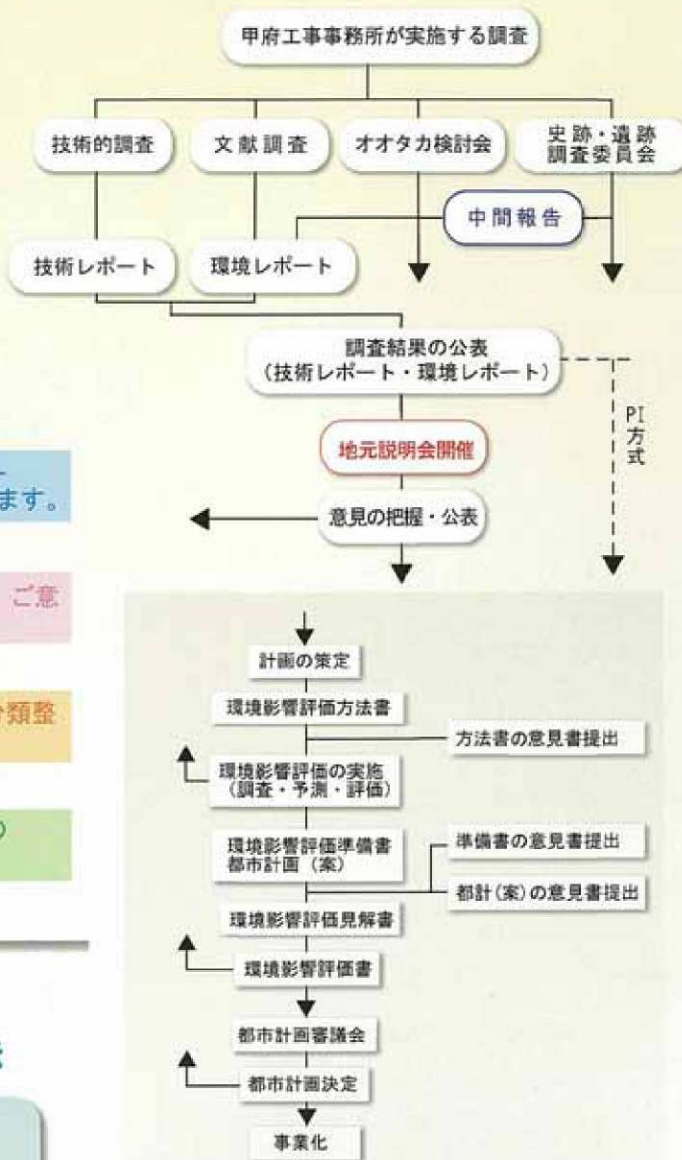
皆さんや各行政機関からのご意見、ご意向を頂けることを期待しています。

3. 意見の公表

どの様なご意見が寄せられたかを分類整理し、その結果を公表します。

4. 意見の反映

寄せられたご意見、ご意向を今後の方針に反映していきます。



情報の共有と意見の把握の方法

お知らせする方法

- ・パンフレット、レポート抜粋版
- ・技術レポート、環境レポート
- ・甲府工事事務所ホームページ
<http://www.ktr.mlit.go.jp/koufu/>
など

対話方式で意見交換する方法

- ・説明会など

意見・意向をお聞きする方法

- ・郵便 : 国土交通省甲府工事事務所
新山梨環状道路調査室
〒400-8578 甲府市緑が丘1-10-1
- ・e-mail : 甲府工事事務所新山梨環状道路調査室
shinkanjo@ktr.mlit.go.jp
- ・ファクシミリ: 甲府工事事務所新山梨環状道路調査室
fax 055-254-9235

● 技術レポートの主な項目

1. はじめに

2. 甲府都市圏の道路交通の現状

- (1) 道路交通の現状
- (2) 交通事故の現状
- (3) 沿道環境の現状
- (4) 道路交通問題の原因

3. 道路交通問題への解決策

- (1) 道路整備以外の方法
- (2) 新山梨環状道路の交通分担

4. 北部区間の改良計画の検討

- (1) ルートの検討 (1)
- (2) ルートの検討 (2)
- (3) 北部区間の構造検討

5. 北部区間の道路整備のメリット

- (1) 交通渋滞の解消
- (2) 地域間の連絡時間の短縮
- (3) 交通事故の減少・安全性の向上
- (4) 生活環境の向上
- (5) 北部区間の投資効果

6. 北部区間の道路整備のデメリット

- (1) 北部区間による沿道環境への影響

7. CO₂によるライフサイクル評価

● 環境レポートの主な項目

1. はじめに

2. 文献調査結果の概要

- (1) 空・水・土
- (2) 生き物・触れ合い
- (3) 生活・制度

3. オオタカ検討会 (中間とりまとめ)の概要

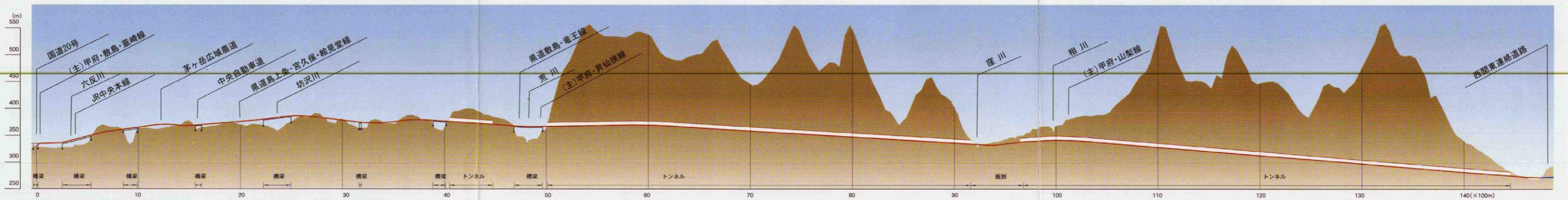
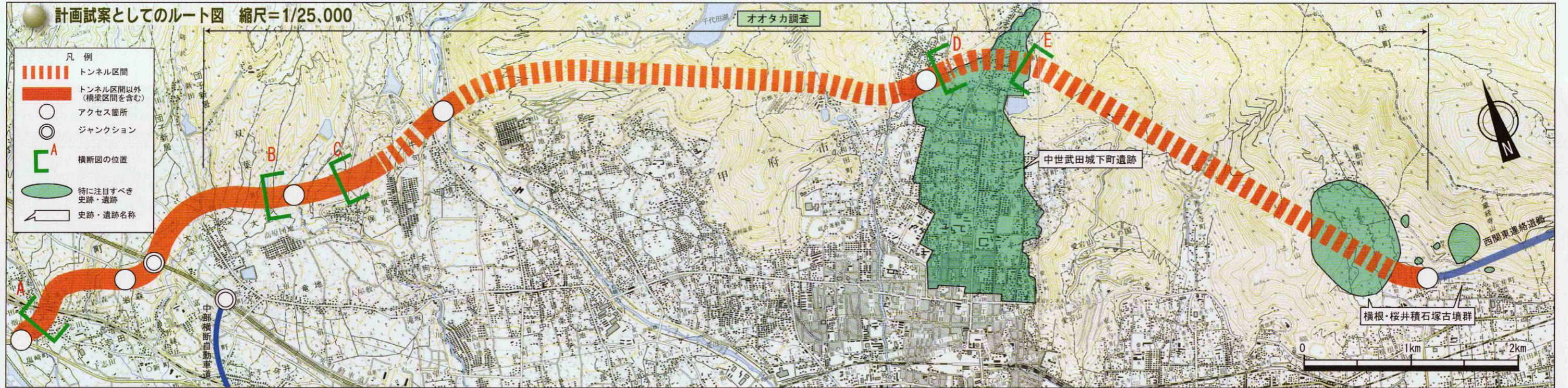
- (1) 調査目的
- (2) オオタカ検討会
- (3) 調査内容
- (4) 調査結果
- (5) オオタカ調査のまとめ
- (6) 今後の調査の進め方

4. 史跡・遺跡調査委員会 (中間とりまとめ)の概要

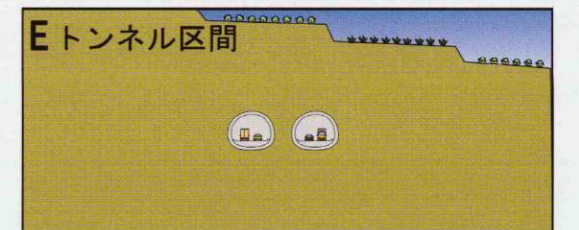
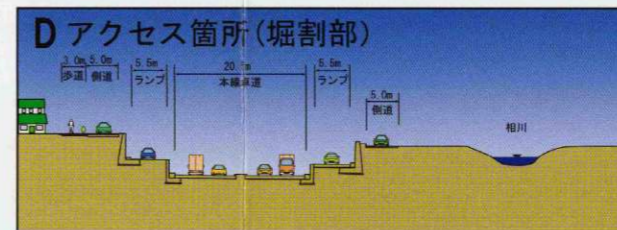
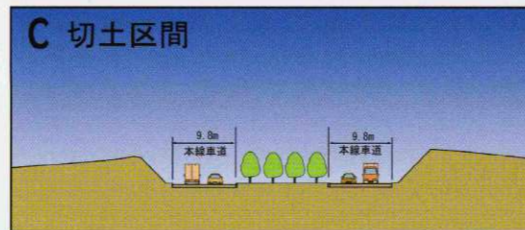
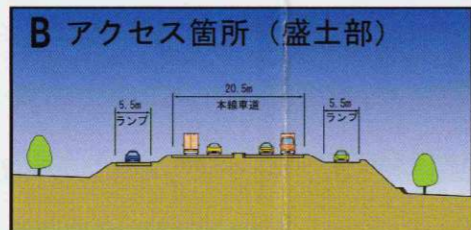
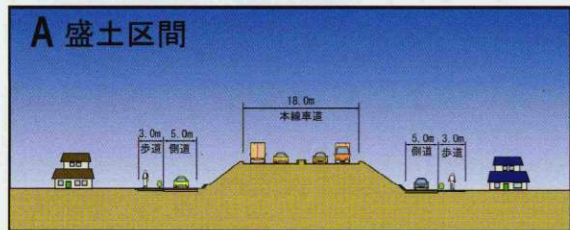
- (1) 調査目的
- (2) 史跡・遺跡調査委員会名簿
- (3) 計画試案ルート周辺の留意すべき
史跡・遺跡
- (4) 中間とりまとめ
- (5) その他

5. 参考資料

- (1) 文献調査結果の全文
- (2) オオタカ検討会 (中間とりまとめ)
の全文
- (3) 史跡・遺跡調査委員会 (中間とり
まとめ)の全文



下記に示す横断面図は、自動車専用道路 (完成4車線) で表示していますが、変更の可能性もあります。ただし、A断面は、一般道路で表示しています。





この技術・環境レポート抜粋版の内容についてのお問い合わせは下記までご連絡ください。

■国土交通省 関東地方整備局
甲府工事事務所 新山梨環状道路調査室
TEL 055-254-9232
FAX 055-254-9235

■山梨県 土木部 道路建設課
(新山梨環状道路推進本部)
TEL 055-223-1688

説明会の日程等についてのお問い合わせは下記までご連絡ください。

■甲府市役所 都市整備部
(新山梨環状道路推進本部)
TEL 055-237-1161 (代表)

■敷島町役場 建設整備課
TEL 055-277-3111 (代表)

■双葉町役場 建設課
TEL 0551-28-2211 (代表)